

(様式)

【担当課：副首都推進局】

議 題	大阪の副首都化について
日 時	平成 29 年 1 月 18 日 (水) 16 時 15 分～19 時 10 分
場 所	堺屋太一事務所
出 席 者	(特別顧問・特別参与) : 堺屋特別顧問 (職員等) 副首都推進局副首都企画推進担当部長、企画担当課長、 事業再編担当課長代理
論 点	第 8 回副首都推進本部会議について
主 な 意 見	○副首都で具体的にやることを絞って考える必要。行政の取組み以外に、民間でできることは何か。一番は「情報発信」。他に「シンクタンク」「カリスマ性のあるもの・特殊文化」の 3 点。 ○I R には放送局が必要。ショーやイベントを放送し、I R の宣伝にもなる。I R を使って情報発信機能を作ること考えてほしい。 ○大阪が話題になることをどんどん作っていく。そのときに目線が下がらないように。その中でシンクタンクの人材に活躍してもらって、人材を引っ張り上げていくことが必要。 ○女性や子どもを大阪に惹きつけるにはどうすればよいか。「教育」ということもあるが、「カリスマ性のあるもの、女性や若者の欲する街、特殊文化」が大事。 ○全国団体（業界団体、協会、学会、スポーツの連盟）のように、全国の情報が集まるところを大阪にもってくると考えると良い。 ○情報発信機能の強化は、全国の情報を大阪に集めて、大阪から発信することが大事。
結 論	○顧問のご意見を踏まえ、引き続き、検討を進める。
資 料	○副首都化に向けた中長期的な取組み方向（未定稿）
関 係 所 属	